

科目名	看護研究方法論Ⅱ Nursing Research Ⅱ		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	高橋佳子, 大橋渉, 多賀谷昭		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	前学期
科目概要	具体例を通じて、量的研究デザイン及び質的研究デザインの計画立案について学習する。量的研究における調査方法とデータ解析のための統計学的手法を学び、分析結果の解釈と表現の方法を修得する。質的研究デザインにおけるインタビュー・観察方法、データの整理、帰納的な分析方法とその解釈、表現の方法を修得する。					
目標	1 量的な研究デザイン及び質的研究デザインの種類とそれぞれに対応した研究方法を理解することができる。 2 研究疑問に適した研究デザイン、研究手法の選択、データ収集方法・分析方法の基本を理解し、適用できる。					
授業計画 ・内容 ・キーワード	1	H30. 6. 11(月) 6・7	質的研究の基礎(1)	ガイダンス, 半構成的インタビュー(技法と倫理), 記述式質問紙, 参加観察法, 質的研究における倫理	高橋佳子	
	2		質的研究の基礎(2)	帰納的分析方法の考え方: データのコード化/コーディング, 概念, カテゴリー: 意味の抽出, 解釈	高橋佳子	
	3	H30. 6. 13(水) 6・7	質的研究の基礎(3)	演習①: インタビューデータの熟読: テーマに沿ったデータの取り出しとコーディング	高橋佳子	
	4		質的研究の基礎(4)	演習②: インタビューデータのコーディングとカテゴライズ	高橋佳子	
	5	H30. 6. 18(月) 6	質的研究の基礎(5)	質的研究におけるデータと分析について(5) 演習③: 発表, まとめ	高橋佳子	
	6	H30. 6. 19(火) 6・7	生物統計の基礎(1)	生物統計学とは 統計的デザインの重要性, 基本統計量(平均値, 標準偏差, 最小値, 中央値, 最大値), 正規分布の意味・使い方, 標本と母集団	大橋 渉	
	7		生物統計の基礎(2)	推測統計学 点推定と区間推定, 信頼区間, 統計学的検定の仕組み, 有意水準, p値, α エラー, β エラー	大橋 渉	
	8	H30. 6. 26(火) 6・7	生物統計の基礎(3)	各種検定方法 2群比較のための解析手法, パラメトリック, ノンパラメトリックの意味, t検定, Mann-Whitney のU検定, 分割票の検定(χ^2 乗検定, Fisherの正確検定), 対応のある(paired)データの意味と検定方法(paired t検定, Wilcoxonの符号付順位和検定)	大橋 渉	
	9		生物統計の基礎(4)	多群の検定と相関 多群比較, 多重比較, Pearsonの積率相関係数, Spearmanの順位相関係数, 相関関係と因果関係	大橋 渉	
	10	H30. 7. 3(火) 6・7	生物統計の基礎(5)	回帰分析 説明変数, 目的変数, 回帰分析の目的, 単回帰分析, 重回帰分析の基本と結果の解釈について	大橋 渉	
	11		生物統計の基礎(6)	ロジスティック回帰分析 ロジスティック回帰の目的, 結果の解釈について	大橋 渉	
	12	H30. 7. 9(月) 6	研究デザインと方法(1)	【質問紙調査】モデルと変数, 尺度水準, 心理尺度, 因子分析, 尺度の信頼性と妥当性, 質問紙の構成, 質問項目・選択肢の作成	多賀谷 昭	
	13	H30. 7. 23(月) 6	研究デザインと方法(2)	【介入研究】実験研究と観察研究, ランダム化対照実験, 心理的バイアスや倫理的問題への対処方法, 標本サイズと検出力	多賀谷 昭	

	14	H30. 7. 30(月) 6	研究デザインと方法 (3)	【質的研究】研究方法の種類と特徴, 調査者の立場と倫理, 信頼性・妥当性の評価と確保の方法	多賀谷 昭
	15	H30. 8. 1(水) 6	研究成果の活用と評価	国内文献を選択し、授業を通して得た知識を活用し、研究成果を評価する	高橋佳子
学習方法	<p>講義前には、講義内容に関連する書籍・文献を読み込んで授業に臨むこと(90分程度)。 講義後は、講義内容やディスカッションした内容を振り返り、復習しておくこと(90分程度)。 授業では、学生のプレゼンテーション、ディスカッションを通して学修を深める。 授業内容の質問、プレゼンテーション、ディスカッション、レポートについては、全体または個別に、その都度フィードバックを行う。</p>				
評価方法	<p>レポート(70%), 参加状況(30%)により評価する。 (レポートは各教員が提示する課題で作成する。)</p>				
テキスト・参考書	<p>参考書：その他、随時紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. S. Grove, N. Burns, 黒田裕子他(訳)：パーズ&グローブ 看護研究入門 原著第7版 一評価・統合・エビデンスの生成, エルゼビア・ジャパン, 原著第7版(2015/9), 9,720円(税込み) 2. D.F. ポートリット&C.T. ベック, 近藤潤子監修：「看護研究 原理と方法」第2版, 医学書院(2010/3), 102,60円 3. 鈴木淳子：質問紙デザインの技法第2版, ナカニシヤ出版, 2016/7, 3,024円(税込み) 4. 木原雅子, 他：「医学研究のデザイン」(第4版), メディカル・サイエンス・インターナショナル, 医学書院, 2014/9, 5,076円(税込み) 5. 柳井晴夫他, SPSSによる統計データ解析—医学・看護学, 生物学, 心理学の例題による統計学入門, 現代数学社, 2006/04, 2,526円(税込み) 				
履修上の注意	<p>事前学習を行い、主体的な学習態度で臨むことを期待する。</p>				
オフィスアワー	<p>高橋佳子：月曜日 16：30—18：00 看護学部棟4階 N451研究室 大橋渉：別紙にて配布する。 多賀谷昭：授業に関する質問・相談等は授業終了後に対応する。</p>				